

## 第4期経営改革実施計画書

団体名	公益財団法人 金沢市スポーツ事業団		計画期間	令和6年度 ～ 令和10年度	
設立年月日	昭和56年9月9日	基本財産	10,000 千円	市出資額	10,000 千円
	[新公益法人への移行] 平成24年4月1日			市出資割合	100 %
設立意義・経緯	金沢市が設置するスポーツ施設の管理運営及びスポーツ教室の運営等、スポーツの振興を目的として昭和56年財団法人金沢市スポーツ施設管理事業団として発足。平成12年3月にさらなるスポーツの振興を目的として公益財団法人金沢市スポーツ事業団に名称変更。平成24年4月に公益財団法人へ移行した。令和4年4月1日、公益財団法人金沢まちづくり財団と合併した。				
設立目的	市民の健康増進及びスポーツの振興に関する事業並びに緑化の推進に関する事業を実施し、市民の心身の健全な発達と健康で活力と潤いのある生活に寄与することを目的とする。				
定款で定める公益目的事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康の維持増進及び体力づくりに関する事業</li> <li>(2) スポーツ活動における健康相談及びスポーツ情報の提供に関する事業</li> <li>(3) スポーツ振興のためのスポーツ教室等の事業</li> <li>(4) スポーツ施設の有効利用に関する事業</li> <li>(5) スポーツ行事の実施、支援及び普及啓発活動に関する事業</li> <li>(6) 金沢市のスポーツ施設の管理運営に関する事業</li> <li>(7) 緑化思想の普及啓発及び民有地の緑化の推進に関する事業</li> <li>(8) 金沢市の公園の安全・安心に関する事業</li> <li>(9) その他公益目的を達成するために必要な事業</li> </ul>				
所在地	金沢市泉野出町3丁目8番1号		所管課	文化スポーツ局スポーツ振興課	
代表者職氏名	理事長 高村政博	ホームページアドレス	<a href="https://www.kanazawa-sports.jp/">https://www.kanazawa-sports.jp/</a>		
設立主体	金沢市	設立根拠	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく公益財団法人		

これまでの改革の成果	【第1期経営改革（平成18～23年度）】				
	<p>1 組織面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度に体育施設管理センターを事務局内に移設し、効率的な業務の遂行に努めた。</li> <li>・平成24年4月1日に公益財団法人への移行を完了した。</li> <li>・体育館、テニスコート、屋外スポーツ施設について、指定管理者として良好な業務を遂行し金沢市からS評価を受けた。</li> <li>・金沢市からの派遣職員を廃止し、外郭団体として自立に取り組んだ（平成24年度から）。</li> </ul> <p>2 人事面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度から管理業務員の3段階報酬制度を設定し、業務内容に応じた報酬体系とした。</li> <li>・中期収支計画に基づき職員数（理事長を含む）の減少に取り組んだ。（平成20年度81人⇒平成23年度67人）</li> <li>・人事評価制度を導入し、年功制から能力制へと移行した。</li> </ul> <p>3 研修制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロパー職員について各種資格取得研修への参加を促し、様々な資格の取得に取り組んだ。</li> </ul> <p>[平成24年度4月1日現在の資格取得状況]</p> <p>体育施設管理士11名、上級体育施設管理士6名、トレーニング指導士2名、スポーツプログラマー2名、赤十字救急員8名、アシスタントマネージャー2名、防災士3名、特定社会保険労務士1名ほか</p> <p>4 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度から生涯スポーツ学院を生涯スポーツ推進事業に変更し、健康増進事業とスポーツ振興事業を実施することで、公益性の向上及びスポーツの振興を図った。</li> <li>・平成23年度の目標として、延べ受講者数45,351人、受講料収入38,332千円のところ、延べ受講者数62,159人、受講料収入43,685千円と大幅に増加した。</li> </ul>				

<p>これまでの改革の成果</p>	<p>【第2期経営改革（平成24～28年度）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ推進事業による市民の健康の増進 金沢市の施策に基づきスポーツ推進事業を7つに分類し、市及び関連団体と連携をとり、金沢市スポーツ推進計画の実現に向けて、幼児から高齢者、障害者等へのスポーツの推進に幅広く取り組み、多様化するスポーツ機会の提供拡大に努めた。</li> <li>2 スポーツ施設の利用促進 平成28年度からプール等施設指定管理者となり、当該年度に指定管理施設全体の利用者数の目標値1,977,000人に対して2,046,149人と大きく増加することができた。</li> <li>3 利用者アンケート調査に基づくサービス向上策の推進 利用者アンケート調査の「全体的な満足度」について全施設平均値を4.14点（平成27年度）以上とする目標に対し、4.17点（平成28年度）と目標を達成した。 [その他（平成29～30年度）]</li> <li>4 金沢プール（平成28年度）、屋内交流広場（平成30年度）の指定管理者として選定された。</li> <li>5 平成30年3月にホームページをリニューアルし、アクセス数が大きく増加するなど情報発信に努めた。（平成30年度133,880件、平成29年度61,857件）</li> <li>6 自動販売機設置業者のプロポーザル選考及び大会時の出店の事務手数料を徴収することにより、収入の増加を図った。（平成30年度27,977千円、平成29年度20,101千円）</li> <li>7 スポーツ推進事業の参加者拡大に積極的に取り組んだ。 （平成30年度延べ参加者147,865人、平成29年度延べ参加者128,263人） ・各種イベントの開催 かなざわスポーツフェスティバル、かなざわスポーツ川柳コンテスト カナラグ（ラグビーイベント）、パラスポーツイベント、ナイトラン、サタデーランほか</li> <li>8 地域貢献活動への取り組み クリーンキャンペーン、クリーンビーチ、献血運動、中学校職場体験、各種リサイクル活動、福祉作業所の自立支援協力、自動販売機による各種支援ほか</li> <li>9 組織体制の強化 （1）「安全」「笑顔」「感謝」「満足」「創造」の5つの行動指針を策定し、職員提案によるスローガンを毎年掲げることで職員の意識が向上し、組織の強化を図ることができた。 （2）プライバシーマークの更新、いしかわ事業者版環境ISOの継続した登録。 （3）定額交付金、利用料金制度に対応し安定的な経営に取り組み、経営基盤を強化するための内部留保額を35,435千円とした。</li> </ol>
<p>これまでの改革の成果</p>	<p>【第3期経営改革（令和元～5年度）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ推進事業 金沢市スポーツ推進計画の実現に向けて、多様化するスポーツ機会の提供拡大に努めた。 ・管理栄養士による「スポーツ栄養メニュー講座」 ・総合体育館周辺の飲食店と連携したスタンプラリー「Sports&amp;Eatオータムラリー」 ・金沢市ラグビー協会と連携した金沢駅もてなしドーム「パブリックビューイング」 ・オンラインでの「フィットネス動画配信」「脳科学トレーニングセミナー」 ・「若いカプロジェクト」の立ち上げ、YouTube動画配信・PV動画制作、集団演技が金沢市スポーツ遺産に認定 ・金沢まちづくり財団との合併によるスポーツとみどりを融合させた「スポーツとみどりdeハッピーフェスタ」の開催 ・託児付き育児リフレッシュ教室（市受託） ・金沢マラソンGPSアートコンテスト（市受託） ・ボッチャ用具のレンタルサービス開始</li> <li>2 指定管理者制度 ・第4期指定管理者（令和3年度から5年間）の選定</li> <li>3 スポーツ施設の利用促進・業務効率化 ・医王山スキー場のQRコード決済（PayPay）の試行的導入、金沢市スポーツ施設キャッシュレス決済システムの導入 ・SNSによる鳴和台プールの混雑状況、医王山スキー場の営業状況の配信 ・年間大会調整会議のデジタル化</li> <li>4 サービス向上策 ・総合体育館会議室無線LANサービスの整備 ・内川、戸室スポーツ広場のミストシャワー設置 ・総合体育館第3会議室の床カーペット化 ・能登半島地震による避難所開設と体育施設利用を併用して行うことにより避難者だけでなく施設利用者へも配慮したバランスの取れた施設運営</li> <li>5 地域貢献活動への取り組み ・発展途上国に野球の道具を寄贈する「世界の野球のグローブ支援プロジェクト」 ・金沢市スポーツ施設敷地内禁煙 ・障がい者支援事業として関係団体と連携した「アウトサイダーアート展」 ・東京オリンピックに参加したウエイトリフティングフランス代表選手の事前合宿における職員の全力サポート ・田上運動広場、花壇スペース設置 ・他外郭団体との連携による能登半島地震避難者へのストレッチ体操等の運動支援</li> </ol>

<p>これまでの改革の成果</p>	<p>6 組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年4月、公益財団法人金沢まちづくり財団と合併、緑化推進事業及び公園点検業務にも取り組んだ。(点検：市内公園598か所、緑地238か所)</li> <li>・緑化推進係の新設</li> <li>・都市緑化基金等連絡協議会研修会参加</li> <li>・施設管理係を施設の特性により第1・第2係制とし効率的な運営に努めた。</li> <li>・能登半島地震の経験を踏まえ、実践的な地震発生時における管理業務員の対応マニュアルを策定し金沢市の承認を受けた。</li> <li>・インボイス制度に対応した。</li> <li>・部下育成のためのリーダー資質研修参加</li> <li>・パワハラ&amp;メンタルヘルス対策セミナー参加</li> <li>・防災、防火管理者講習参加</li> <li>・JAL客室乗務員による接客研修の実施</li> </ul>
<p>直面する課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ推進事業（多様化するスポーツニーズへの対応）</li> <li>2 指定管理者継続のための取組み</li> <li>3 利用料金制度の対応</li> <li>4 働き方改革の推進</li> <li>5 ペーパーレス、IT化</li> <li>6 情報発信体制の充実</li> <li>7 安心・安全な施設管理運営</li> <li>8 緑化推進事業の円滑な運営</li> <li>9 SDGsの推進</li> <li>10 職員の資質向上</li> <li>11 法改正への対応</li> </ol>
<p>改革の基本的方向性</p>	<p>金沢市スポーツ文化推進条例の推進に努め、市民の心身の健全な発達と健康で活力のある生活の形成に寄与することを基本理念とする。</p>
<p>経営目標</p>	<p>金沢市の外郭団体として市のスポーツ行政に呼応するとともに、安全・安心な施設の管理運営及びサービスの提供、並びに安定的な経営に取り組み、継続して指定管理者に選定されることを目指す。</p>
<p>改革に向けた取組 (令和6年度～令和10年度)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化するスポーツニーズへ対応したスポーツ教室やイベントの開催</li> </ul> </li> <li>2 指定管理者継続のための取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期指定管理者（R8.4から）の応募・選定</li> <li>・複数施設が立地した城北市民運動公園での様々な体験型イベント等の企画、運営</li> <li>・城北市民運動公園内外で混乱が生じないように金沢市と連携し運動公園内の指定管理者間の意見及び要望等を調整</li> </ul> </li> <li>3 利用料金制度の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費高騰を鑑みた適正な委託費の算出と金沢市への働きかけ</li> </ul> </li> <li>4 働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託職員等への無期転換ルール周知</li> <li>・労働時間の順守、職務満足度の向上</li> </ul> </li> <li>5 ペーパーレス、IT化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設間ネットワークの構築（金沢市が施設に配置したPCの仕様変更R7.10から）</li> </ul> </li> <li>6 情報発信体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的なHP、SNSの活用</li> </ul> </li> <li>7 安心・安全な施設管理運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯防災マニュアル等の見直し</li> <li>・老朽化施設の計画的な修繕計画の策定</li> <li>・公用車の更新対策（更新又はリース）</li> </ul> </li> <li>8 緑化推進事業の円滑な運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園、緑地点検及び円滑な植樹の助成</li> </ul> </li> <li>9 SDGsの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン・ビーチいしかわinかなざわ参加</li> </ul> </li> <li>10 職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織改編による企画立案部門の強化及び安全安心な施設管理の更なる強化</li> </ul> </li> <li>11 法改正への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子帳簿保存法への対応</li> <li>・フリーランス法への対応（R6.秋から）</li> <li>・社会保険の適用拡大（R6.10から）</li> <li>・労働条件通知書の明示事項の改正への対応（R6.4から 無期転換ルール、労働契約関係の明確化）</li> </ul> </li> </ol>

	成果指標		計画策定時数値 (令和5年度末)	計画目標値 (令和10年度末)
	成果指標 (実施計画の 達成度を測る ための指標) 及び目標値等	推 進 ポ ー ツ 事 業	延べ参加人数	100,014 人
受講料収入			67,248,562 円	66,000,000 円
体 育 施 設 利 用 人 数		体育館等	795,229 人	908,000 人
		テニスコート等	138,646 人	166,000 人
		屋外施設等	572,973 人	608,000 人
		条例外施設	30,778 人	44,000 人
			人	人
計	1,537,626 人	1,726,000 人		
成果指標 (実施計画の 達成度を測る ための指標) 及び目標値等	体 育 施 設 利 用 料 金	体育館等	100,899,390 円	100,130,000 円
		テニスコート等	26,707,900 円	29,080,000 円
		屋外施設等	39,603,250 円	43,120,000 円
			円	円
		計	167,210,540 円	172,330,000 円
	ア ン ケ ー ト 調 査	利用者アンケート (全体的な満足度の平均値)	4.30 点	4点を上回る
		職員アンケート (職務満足度の平均値)	3.88 点	4点を上回る

※スポーツ推進事業について

令和6年度以降の目標数値には市委託事業分は含まない。